



NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION KAGOSHIMA MEDICAL CENTER

独立行政法人国立病院機構

鹿児島医療センター

[心臓病・脳卒中・がん専門施設]

理念 良質の医療を病む人の立場に立って
提供し国民の信頼に応える病院を
目指します

広報誌

鹿児島 医療センター

4 2025
Vol. 228



発行：独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター
〒892-0853 鹿児島県鹿児島市城山町8-1
TEL 099・223・1151
H P <https://kagomc.hosp.go.jp>

「信頼に応える病院」 の実現に向けて



Contents

巻頭言 院長のご挨拶 独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター 院長 西尾 善彦 …… 2

院内研究発表会を振り返って～研究の「共有」と「つながり」が生まれる場へ～ 臨床研究部長 松下 茂人 …… 3



巻頭言 院長のご挨拶

2025年4月1日より田中康博前院長を引き継ぎ、新院長に就任した西尾善彦です。前任の鹿児島大学大学院糖尿病・内分泌内科学講座でも大変お世話になりましたが、今後は地域医療を担う公的病院の一つとして重要な使命を持つ鹿児島医療センターの院長としてお世話になります。どうぞ、引き続き宜しくお願い申し上げますとともに新任にあたってのご挨拶を申し上げます。

コロナ感染症がようやくひと段落ついた現在ですが、ご承知の通り病院の経営環境は極めて厳しい状態になっています。特に、県立や市立病院、大学病院などの地域医療の中核を担う公的病院の赤字が全国的な問題になっていますし、鹿児島医療センターが属する独立行政法人国立病院機構もその例外ではありません。全国140の国立病院機構に属する病院のうち約85%の病院が赤字を計上しています。鹿児島医療センターにおいてもコロナ感染症で下げざるを得なかった病床稼働率がコロナ感染症の沈静化した現在でもなお回復せず、2023年、2024年度と大幅な経常赤字を出さざるを得ない状況に陥っています。鹿児島医療センターは国立病院機構に属する公的病院ですが、だからと言って決して赤字が許される環境にはありません。これまで病院経営の健全化を目指して対策を進めてまいりましたが、今後もさらに一層の創意工夫と努力が必要な状況です。

このように経営面では大変困難な環境下にはありますが、鹿児島医療センターのスタッフには鹿児島の地域医療を支えるべく日々懸命に努力していただいています。まだ院長に就任して日は浅いのですが、鹿児島医療センターが鹿児島における心臓病、脳卒中及びがん診療の一翼を担っているという医師や医療スタッフの心意気をひしひしと感じています。このような熱意にあふれた病院を健全に自立運営していけるような体制にすることは私の責務であると痛感し、皆様方のご支援をお願いするところです。

日本社会は未曾有の感染症パンデミックを経験し、これまで経験したことのない人口減少、少子高齢化の時代に突入しています。病院は働き方改革の実行という新たな課題にも直面しながら極めて厳しい環境下での運営を強いられている状況です。そんな中でも私は鹿児島医療センターのスタッフが丸となることで、必ずや鹿児島医療センターの基本理念である「信頼に応える病院」を実現できると信じています。そしてその実現に向けて努力と創意工夫を重ねて参る所存ですのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。



独立行政法人 国立病院機構
鹿児島医療センター

院長

西尾 善彦





(写真3)

院内研究発表会を振り返って

～ 研究の「共有」と「つながり」が生まれる場へ ～ 臨床研究部長 松下 茂人

2024年度より、「院内学会」は「院内研究発表会」へと名称を改め、研究成果を院内全体で共有し、多職種が関わる交流の場として開催されました。ポスター掲示とライトニングトークを組み合わせた発表形式を導入し、全職員が投票できる制度を取り入れることで、より多くの職員が研究に関心を持ち、評価に参加できる仕組みを構築しました。

発表会では、事前にポスターを掲示(写真1)し、職員が研究内容を把握できるよう工夫したほか、web上でもポスターを閲覧できる(写真2)ようにすることで、より多くの職員が発表内容に触れやすくする工夫も行いました。当日は発表者が3分間のライトニングトークで要点を説明し、その後に質疑応答を実施する(写真3)ことで、簡潔に伝える力の養成と、業務時間内での効率的な開催を意識した構成としました。

審査では、従来の評価者による審査に加え、全職員が「最も優れた研究」に投票できる制度を導入し、多様な視点が反映されました。その結果、最優秀賞に歯科口腔外科の福永莉々亜さん、優秀賞に病理診断科の後藤正道先生、若手最優秀賞に診療放射線科の市野凌資さん、若手優秀賞に皮膚腫瘍科の生駒宗禎先生が選ばれました。13演題中7演題が若手(卒後10年以内)による発表であり、最優秀賞も若手職員が受賞するなど、若手のポテンシャルの高さが窺えました。また、2演題は科研費を獲得した研究で、質の高い内容が共有されました。

発表会後のネットワーキングセッションでは、研究のフィードバックや新たな視点の共有が行われました。今年は看護師を中心に参加がありましたが、今後はより多くの職種の参加と交流が期待されます。

アンケートでは「各部署交流に有意義だった」との声のほか、「オンデマンドで視聴できるようにしてほしい」「事前に質問できる仕組みがあれば活発な議論になったのでは」といった意見も寄せられました。こうした声を参考に、より研究に触れやすく議論が深まる環境づくりを進めてまいります。

今回の発表会を通じて、「自分も研究に挑戦してみたい」と思った職員もいらっしゃるかもしれません。私たち臨床研究部は、今後も研究に関心を持つ職員が一步を踏み出せる環境を整え、若手をはじめとした研究活動を支援していきます。

最後に、本発表会の開催にあたりご協力いただいた審査員各位、運営関係者の皆様、そして発表者・聴講者の皆様にご心より感謝申し上げます。来年度も引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。



(写真1)



(写真2)

外来診療担当表2025年5月

2025年5月1日現在

診療科		曜 日	月	火	水	木	金
血液内科	初 診		大塚 真紀	原口 浩一	山本 花	大塚 真紀	大渡 五月
	再 診		大塚 真紀	大塚 真紀	大渡 五月	大塚 真紀	大渡 五月
	移植後フォローアップ外来※		山本 花	原口 浩一	山本 花	原口 浩一	
血液内科医師及び看護師（完全予約制）							
糖尿病・内分泌内科			郡山 暢之	児島 奈弥 和田 華菜子	郡山 暢之	西尾 善彦 平原 涼太郎	郡山 暢之
糖尿病療養指導外来※			糖尿病看護認定看護師				
消化器内科	消化管・胆膵		福森 光 藤本 敦	福森 光 湯淺堂 遥	福森 光 藤本 敦	「処置日」	福森 光 湯淺堂 遥
	肝臓		櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏
腎 臓 内 科			古庄 正英 外山 裕貴 (CKD連携外来)	腹膜透析外来	「手術日」	古庄 正英 倉八 孝行 (CKD連携外来)	外山 裕貴 (第2金曜以外) 正英 (第2金曜のみ)
第一循環器内科			片岡 哲郎 茶園 秀人 有村 俊博	片岡 哲郎 高崎 州亜	茶園 秀人 今村 春一 中島 均	福宿 愛	片岡 哲郎 高崎 州亜 向井 麟太郎
第二循環器内科 ※弁膜症外来 火曜日			園田 幸一郎 中別府 麻里	東 健作 平塚 聖久 後藤 淳一	園田 正浩	石川 裕輔 伊集院 駿 田中 康博	園田 正浩 馬場 善政
不整脈治療科			塗木 徳人	塗木 徳人	蔡 榮鴻	二宮 雄一	塗木 徳人
脳・血管内科			松岡 秀樹 濱田 祐樹 池田 め衣 もの忘れ外来 (再診/午後)	松岡 秀樹 浜田 恭輔 岩元 佳奈	松岡 秀樹 佐藤 健朗 池田 め衣	松岡 秀樹 濱田 祐樹 もの忘れ外来 (初診/午後)	松岡 秀樹 佐藤 健朗 川畑 裕太郎
小 児 科 ※心臓健診 月曜日～金曜日			田中 裕治 長濱 潤 二宮 由美子 石川 香織	田中 裕治 長濱 潤 二宮 由美子	田中 裕治 長濱 潤	田中 裕治 長濱 潤 二宮 由美子 石川 香織	田中 裕治 長濱 潤 二宮 由美子 吉永 正夫
放射線科	放射線治療		西森 宏雄		西森 宏雄	西森 宏雄	西森 宏雄
	画像診断 CT・MRI・RI		井手上 淳一 鮎川 卓朗	井手上 淳一 鮎川 卓朗	鮎川 卓朗	井手上 淳一 鮎川 卓朗	井手上 淳一 鮎川 卓朗
心臓血管外科			向原 公介		峠 幸志		永富 脩二
外科・消化器外科				塗木 健介 崎田 浩徳 佐竹 霜一		塗木 健介 崎田 浩徳 佐竹 霜一	
脳神経外科 ※水曜日は、手術日のため外来診療休止			樋渡 貴昭	樋渡 貴昭	「手術日」	樋渡 貴昭	井上 恵理
婦人科 ※完全予約制			神尾 真樹 永田 真子 鬼ヶ原 幹久 福西 優花	神尾 真樹 永田 真子 鬼ヶ原 幹久 福西 優花	「手術日」	神尾 真樹 永田 真子 鬼ヶ原 幹久 福西 優花	神尾 真樹 永田 真子 鬼ヶ原 幹久 福西 優花
耳鼻咽喉科 ※完全紹介制（初めての方は医師の紹介が必要です）			松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾
泌尿器科 ※火曜日は、手術日のため外来診療休止			川平 秀一郎	「手術日」	川平 秀一郎	川平 秀一郎	川平 秀一郎
皮膚腫瘍科			松下 茂人 青木 恵美 戸澤 貴久	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 岩田 昌史 (第2,4週) 戸澤 貴久 (第1,3,5週)	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 岩田 昌史
眼 科 ※ 外来診療のみ			中尾 久美子 午後 休診	中尾 久美子	午前 休診 中尾 久美子	中尾 久美子	中尾 久美子
歯科口腔外科			中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子
専門外来	医師		緩和ケア外来 松崎 勉		腹水外来 櫻井 一宏		がんゲノム医療相談外来 鈴木 紳介
	看護師		フットケア外来 糖尿病看護認定看護師		リンパ浮腫外来 リンパ浮腫指導技術者	ストーマケア外来 皮膚・排泄ケア認定看護師	
セカンドオピニオン外来※			循環器疾患、心臓血管疾患、脳血管疾患、がん、悪性新生物、血液疾患				
マルチモビリティ外来※ 『健康診断』 受付 午前8:45～10:00			第2循環器内科	第1循環器内科	脳血管内科	腎臓内科	消化器内科
				第一循環器内科	第二循環器内科		脳・血管内科

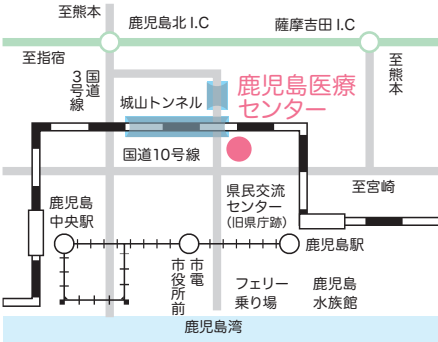
- 受付時間／午前8時45分から11時00分まで ●診療時間／午前8時45分から午後5時15分まで※ただし、急患についてはこの限りではありません。
●休 診 日／土・日曜日・祝日及び年末年始(12月29日～1月3日) ※移植後フォローアップ外来・糖尿病療養指導外来・専門外来・セカンドオピニオン外来・マルチモビリティ外来については完全予約制となっております。事前に電話確認をお願い致します。※不在予定医師につきましてはお電話またはホームページにてご確認ください。※歯科診療に関しましては当院入院患者さまのみとなっております。

患者さんのご紹介について

- STEP①** 予約センター（専用TEL:0120-680-704）へご連絡ください。
患者さま氏名・生年月日・ご連絡先・希望診療科をお尋ねいたします。
- STEP②** 希望医・希望日時に合わせて紹介先診療科の新患空予約枠をお取り下さい。
- STEP③** 後程、情報提供書のFAX（専用FAX:0120-334-476）をお送り下さい。

※ただし、一部の診療科（血液内科、不整脈治療科、眼科）は除きます。 ※検査などの関係で、予約日の変更依頼を当院から直接患者様へご連絡する場合がありますことと、内容によって院内の他診療科へ予約変更させていただく場合がありますことをご了承ください。 ※緊急性がある場合には、各診療科医師へ直接お電話ください。

予約センター 専用TEL 0120・680・704 専用FAX 0120・334・476
受付時間：月～金9:00～17:00(祝日・12月29日～1月3日を除く)



独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号 TEL:099(223)1151・FAX:099(226)9246 ホームページ <https://kagomc.hosp.go.jp>

